

視聴覚教材が子どもたちに贈るもの

講師：^{きむら せいすけ}木村 誠甫氏 <元キリスト教視聴覚センター (AVACO) 総主事>

日時：2025 年 9 月 6 日 (土) 10 時～12 時 (9 時 30 分受付)

場所：メアリー・イザベラ・ランバスチャペル 聖和キャンパス山川記念館 2 階

キリスト教保育の園や教会学校で、聖書のお話の紙芝居をみたことがある人は多いのではないかと思います。なかでもアバコ (AVACO: キリスト教視聴覚センター) の紙芝居や絵ばなしはなじみ深く、よく使ったという人もおられるでしょう。今年の公開講座は、その AVACO で長年にわたり紙芝居や絵ばなしを制作、提供し、保育者養成校での視聴覚教育にも携わられた AVACO 元総主事の木村誠甫さんを、関西の地にお迎えします。

なんでも動画が見せてくれる時代に、木村さんは「絵ばなしやフランネルグラフなどのアナログと言われる教材は、決して時代遅れの教材ではありません。むしろ感性を磨く優れた教材です」と語っておられます。静止画であるからこそ子どもたちは自分の頭で絵に動きをつけ、イメージすることができる——だからそれらは「今の子どもたちにこそ新しい教材」なのだというのです。

木村さんは現在も幼稚園、保育園に出向かれ、子どもたちへの楽しいプレゼントである紙芝居や絵ばなしの上演活動をおこなっておられます。キリスト教教育・保育に携わるわたしたちが、改めてこれらの視聴覚教材の魅力と意義を学び、自分はなにを用いていくのかを考える時となればと願っています。関心のある方をお誘いあわせの上、お越しください。

<入場無料・要申込み>

右記QRコードまたはURL (↓) より
8 月 25 日 (月) までにお申込みください。

<https://forms.office.com/r/1AjQiF7s9Q>



主催：関西学院短期大学 キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山 7-54 Tel. 0798-54-6504 tandai-jimu@kwansei.ac.jp (短大事務室)

共催：「子どもと聖書とエキュメニカル運動」検証プロジェクト (NCC エキュメニカル協働基金助成事業)